

知るは楽しい！琵琶湖文化館

[第9回] クイズ チャレンジ!!

琵琶湖文化館の収藏品の中から、あるいは知っているようで知らない文化財のことについて、あれこれクイズにしてみました。是非チャレンジしてみてください！

問題 25

琵琶湖文化館が建っているところは「大津市打出浜^{うちではま}」。休館以降、県と協働で開催している滋賀の文化財講座のタイトル[打出のコツチ]の名前の由来ともなっています。



歴史的な地名の「打出浜」は、有名な古典文学にも出てくるのですよ。

そこで問題。「打出浜」の地名は、どの文学作品に登場するのでしょうか？次の中からお選び下さい。

- ① 源氏物語 ② 平家物語 ③ 伊曾保物語^{いそほ}



問題 26

戦国時代に北近江（現在の長浜市・米原市域）を統括し、繁栄に導いた浅井氏3代（亮政・久政・長政^{いひまさ ひさまさ ながまさ}）。中でも義理堅く、浅井氏最期の当主となった長政は、地元のみならず、全国的にも、とても人気のある戦国大名です。妻に戦国一の美女と称される「お市の方^{いちのかた}」をむかえ、夫婦仲が良かったことでも有名ですが、お市の方は、ある名の知れた武将の妹にあたります。では問題です。お市の方は、一体誰の妹だったのでしょうか？



小谷城址保勝会所蔵

ヒント：[🔍] 近江の文化財 < 収藏品紹介 < 絵画 < 浅井長政像]

- ① おだのぶなが 織田信長



- ② あけちみつひで 明智光秀



- ③ とよとみひでよし 豊臣秀吉



問題 27

平安時代の初めころ、空海や最澄らによって中国・唐から日本に伝えられた密教。密教で用いられる特別な仏具・密教法具に、角のような鋇（こ）という尖りが特徴の金剛杵^{こんごうしよ}とよばれるものがあります。尖りが5本のものを五鋇杵（ごこしよ）、3本のものを三鋇杵（さんこしよ）といますが、では尖りが1本のものを何というのでしょうか。お答えください。

中央に1本、四方に4本の尖りがあります。



ごこしよ 五鋇杵



さんこしよ 三鋇杵



※一鋇杵（いっこしよ）ではアリマセン。

滋賀県立 琵琶湖文化館

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜地先
TEL / 077-522-8179 FAX / 077-522-9634
E-mail / biwakobunkakan@yacht.ocn.ne.jp
ウェブサイト / http://www.biwakobunkakan.jp

クイズの答えは、裏面に豆知識と一緒に掲載しています。当館のウェブサイトでは、様々なクイズを随時更新しています。答えのヒントとなる「滋賀県の指定文化財」や「収藏品紹介」などのページもご覧いただけますので是非チェックしてみてくださいね。



知るは楽しい！琵琶湖文化館

[第9回] クイズ チャレンジ!!

【解答編】

答え 25

「打出浜」の地名が出てくる文学作品は、

【① 源氏物語 と ② 平家物語】 が正解。

【源氏物語】

「関屋（せきや）」の段

光源氏ひかるげんじが石山寺へ参詣に行く途中、偶然にもかつての想い人である空蝉うつせみと、逢坂おうさかの関ですれ違う場面に登場。

ちなみに③ 伊曾保物語は「イソップ物語」のこと。

【平家物語】

「座主流（ざすながし）」の段

伊豆に流罪となった天台宗みょううんの明雲座主げすが、打出浜から比叡山を仰いで涙にむせぶシーンが登場。

「木曾最期（きそさいご）」の段

最後の決戦にのぞむ木曾義仲きそよしなかが、忠臣・今井兼平いまいかねひらと打出浜で合流する場面。

琵琶湖文化館の住所は
大津市打出浜地先


↑湖上に建っているから
地番が無いんだよ～




答え 26

お市の方は【① 織田信長】の妹。



浅井長政あざいながまさは、信長の妹であるお市の方を娶いながらも、義兄である信長に反旗を翻し、姉川の合戦で激しい戦いを繰り広げます。しかし、長政はこの戦にあえ無く敗れ、小谷城おだにじょうに籠城、最後は自刃し29歳の若さで亡くなります。文化館に寄託されている  浅井長政像（所蔵：小谷城址保勝会）は、上部の賛から、長政の没した翌年、長政の遺影が無いことを惜しんだ徳勝寺とくしょうじ（徳昌寺）住職げんしゅうの源秀が京都の絵師に描かせたものとわかります。

毎年春に、地元の人々によって営まれる浅井氏の法要。文化館ではこの法要にあわせて、浅井長政像の里帰りをお手伝いをさせていただくことが恒例となっています。  あきつブログ < 投稿日：2016年4月5日 < 戦国武将の法要

投稿日：2015年4月6日 < 「浅井長政像」の里帰り

答え 27

正解は【とっこしよ（独鈷杵）】といいます。



金剛杵こんごうしよは、もとは古代インドの武器に起源があり、密教では煩惱を打ち砕く象徴として用いられます。空海くわかい（弘法大師）の肖像画や彫刻の多くは、右手に金剛杵、左手に数珠を握りしめた姿で伝わっています。ちなみに寺院の表門で見かける金剛力士像こんごうりきしぞうも、邪悪なものを寄せ付けないよう、金剛杵を持って睨みをきかせていますよ。



滋賀県立 琵琶湖文化館

ウェブサイト / <http://www.biwakobunkakan.jp>

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜地先
TEL / 077-522-8179 FAX / 077-522-9634

E-mail / biwakobunkakan@yacht.ocn.ne.jp